1月12日、香美市役所で**第２回香美市体育文化奨励賞表彰式典**が開催されました。

この賞は、体育や文化の振興を図るために、平成２３年１月に制定されており、今回はスポーツで功績のあった３名と２団体に贈られました。

写真）前列左から山田高等学校女子陸上競技部代理竹村教頭先生・高知工科大学ソフトボール部主将錦内選手・小笠原選手・奥村選手・山本選手。後列は、高知工科大学ソフトボール部の監督と部員の皆さん

山本卓也選手＝昨年９月にトルコ共和国のアンカラで開催された**第６回世界シニアバドミントン大会**に出場し、男子シングルス４０歳以上の部でベスト８の成績を収められました。山本選手は前回の世界シニアバドミントン大会男子シングルス３５歳以上の部でもベスト８の成績を収め、昨年開催された全日本シニア選手権大会では男子シングルス４０歳以上の部で準優勝。土佐山田町小田島。４１歳。

奥村果穂選手＝昨年９月に東京都で開催された、**第６８回国民体育大会**に、弓道成年女子団体のメンバーとして出場し、遠的種目で優勝。近的種目で４位に入賞されました。奥村選手は第６７回大会においても、弓道少年女子団体で近的と遠的の２種目で優勝されています。物部町大栃出身。１９歳。

小笠原兆志選手＝昨年９月に東京都で開催された**第６８回国民体育大会**に、弓道少年男子団体のメンバーとして出場し、遠的種目で優勝。近的種目で準優勝されました。小笠原選手は、第６７回大会でも遠的種目で優勝されており、連覇の快挙を達成されました。高知南高校３年、土佐山田町楠目。１８歳。

高知工科大学ソフトボール部＝昨年９月に大阪府で開催された**第４８回全日本大学男子ソフトボール選手権大会**に出場され、３位に入賞されました。同大会で四国内の大学が準決勝に進んだのはこれが初。

山田高等学校女子陸上競技部＝昨年１１月に徳島県で行われました、**女子第２５回四国高等学校駅伝競走大会**に出場し、優勝されました。

香美市役所では、香美市民や香美市出身者で、体育・文化関係の全国大会で入賞または四国大会で優勝された方や団体の情報を収集しています。情報をお寄せください。　総務課☎５３−３１１２

『自分らしく自分で動く子ども』の育成を目指して　―大宮小学校―

▲学校行事で、１年生が選ぶ講座の説明を行う６年生。昨年の作品を紹介し、講座の楽しさを分かりやすく伝えた。

本校では、学校コンサルチーム派遣事業の指定を受け、研究主題『ふるさとを愛し自ら学ぶ子を育てる～関わり合う力を育成する活動を通して～』をベースに自分らしく自分で動く子どもに育てるべく、学校ビジョンシートを策定しました。

策定するために行った調査の結果、本校児童は、〈受け身・指示待ち・自信がない〉という課題がありました。そこで、児童が主体的な学びを創造していけるように、〈決める・進める・振り返る〉という観点を持って、実践の３本柱（①授業改善②生活改善③自主学習）を定めました。

これらの実践を進める上では、子どもの良さを認め合える学級づくり・子どもの良さや伸びを認めるという土台作りが必要であると考えています。３つの実践の柱において〈決める・進める・振り返る〉の観点で進めていけば、自らの伸びを実感させたり、やればできるという達成感を持たせたりすることができ、『自分らしく自分で動く子ども』の育成が図れると考えています。

この取り組みの中で、児童は〈決める・進める・振り返る〉という学習過程を、教師とともに創っていくという意識で授業に臨むようになりました。自主学習では、低中高学年のブロックごとに自主学習ノートを持ち寄り、良いところや、改善点を付せんに書いて交流しています。交流したことを次の日のノートに活かしたり、自主学習の進め方に広がりや見通しが持てるようになってきています。

今後もこれらの実践を通して『自分らしく自分で動く子ども』の育成を図っていきます。（大宮小学校）

大宮小の学校ビジョンシート

受け身、指示待ち、自信のなさ
→
学習への興味・関心は高い。素直で優しい。自分の思いを言えない。物怖じするため、行動力がない。

決める　進める　振り返る

子どもの良さを認め合える学級づくり
子どもの良さや伸びを認めて返す

実践の３本柱

★授業改善
算数科の学習過程では、授業の質を高める教師の支援

★生活改善
生活チェックの実施

★自主学習
自主学習ノートでブロックごとの重点的観点にそった伸びや変化を評価

自らの伸びを実感させる
やればできるという達成感を持たせる

自分らしく自分で動く子ども
自ら考える、友だちと関わり合う